

Handa Tourist Guide book

いいかも半田

愛知県半田市 観光案内



Special Feature
—特集—

山車祭り

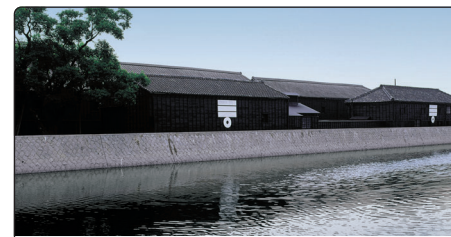
半田まちあるき

半田運河～半田赤レンガ建物
新美南吉の足跡をたどる
亀崎地区をぶらり

魅力発見!

半田で遊ぶ
半田を味わう
半田の醸造
半田のお菓子・お土産

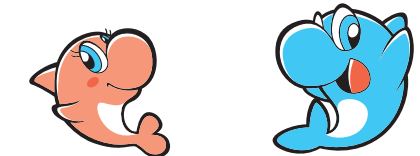
半田マップ



やがて、いのちが変わるもの。



ちたしん は人・地域・環境に
「やさしいまちづくり」を
応援しています。



知多信用金庫
https://www.chitashin.co.jp



酒の文化館

酒造りの資料を展示紹介した
酒の博物館
ご見学は、電話でご予約ください。
☎0569-23-1499
●入館料無料・毎週木曜日休館
●知多半田駅下車徒歩10分
●JR東海武豊線半田駅下車徒歩7分
https://www.nakanoshuzou.jp/



地域のくらしの応援団
半田信用金庫
本部 (0569)-21-8211
http://www.hanshin-ca.co.jp



Good Home Good Life
ナゴヤハウジングセンター
半田会場
半田赤レンガ建物となり



魚太郎・蔵のまち
魚屋だからできる鮮度とホリユームで
最高のおもてなしを
魚太郎・蔵のまち TEL.0569-89-7800



美味しい楽しさ、学んで発見!
クラシティ
CLACITY
営業時間 10:00～22:00 (一部飲食店は23:00迄)
定休日 毎月第4水曜日 TEL (0569) 47-9400



「安全」という名の
タクシー会社です。
安全タクシー 知多四国巡礼、観光地巡りも
お車のご用命は 安全タクシー(株)
☎0569-21-0685(代)

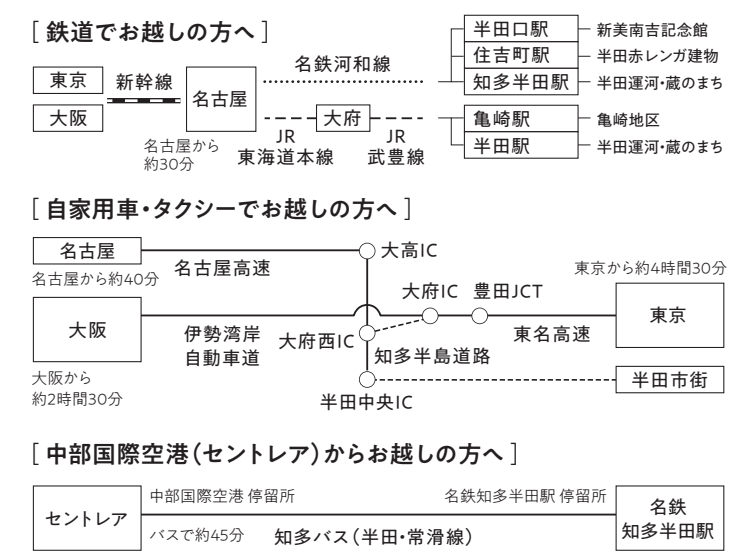


すべての人に安心を!
介護用品・福祉用具のレンタルと販売
ダスキンヘルスレント
ダスキンヘルスレント知多半島ステーション
半田市栄町 1-6 ☎0569-22-3366



知多牛 半田本店 溶岩焼(焼肉)
半田市岩滑西町4丁目1091
TEL (0569) 238672
farm restaurant 黒牛の里
農家レストラン(BBQ場併設)
半田市岩滑西町2丁目48127
TEL (0569) 898629
CLACITY店 焼肉ホルモン
半田市広小路155-3 CLACITY 2F
TEL (0569) 212911

会員募集 かもめツアー
名鉄知多バス旅行 ☎(0569)24-3337
知多バス 検索



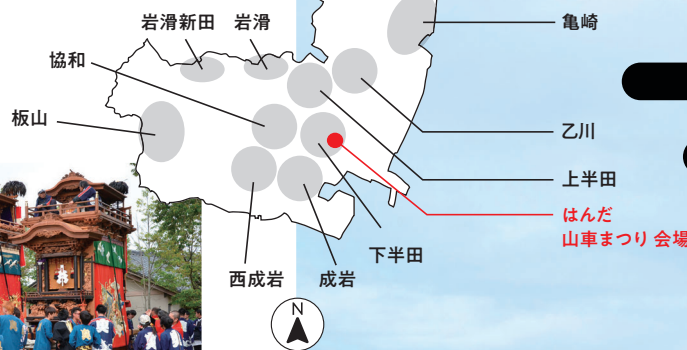
半田市観光協会 0569-32-3264
handa-kankou.com

愛知県半田市東洋町1-8 アイプラザ半田 営業時間/9:00～17:00
令和3年12月発行 企画・編集:半田市観光協会 発行:半田市
※内容はすべて令和3年12月時点のものです。入館料や営業時間などが変更になる場合があります。



春の祭礼

毎年3月下旬から5月上旬にかけて開催される伝統的な祭礼行事。週末ごとに市内10地区で総数31輛の山車がそれぞれの氏神へ曳き揃えられます。



祭人の情熱と 31輛の山車が織りなす 勇壮華麗な時代絵巻。



乙川 3月下旬
知多路に春を告げる乙川祭。山車4輛による乙川八幡社での坂上げで若衆が一番巻を奪い合う様は勇壮そのものです。



岩滑 4月中旬
新美南吉の童話「狐」にも描かれる岩滑の祭礼。提灯飾りの山車2輛と矢勝川河畔での花火の競演は見どころです。



岩滑新田 4月中旬
豊かな自然を背景に多くの新美南吉童話の舞台となった岩滑新田。山車2輛がのどかな田園を進む風景は情緒的です。



上半田(ちんども祭) 4月中旬
山車2輛とちんども舟2艘が登場するちんども祭。宵祭りでの提灯飾りの山車と舟、子供三番叟の舞、花火は幻想的です。



協和 4月中旬
珍しい男児による神子舞が行われます。2組の若衆が総出で行く白山神社急坂での山車2輛の上げ下げは、最大の見どころです。



成岩 4月中旬
山車4輛による成岩神社への打ち込みの他、大獅子小獅子の舞(県指定無形民俗文化財)、巫女舞など見どころがたくさんあります。



西成岩 4月中旬
氏神の成石神社と9カ所の末社を山車2輛が巡ります。市内随一といわれる奉納投げ餅はまさに圧巻、大勢の人で賑わいます。



板山 4月中旬
板山神社に山車3輛、八幡神社に山車1輛が曳き出されます。板山獅子舞(県指定無形民俗文化財)は八幡神社にて奉納されます。



下半田 4月下旬
古くから海運・醸造・商業の町として栄えた下半田。豊かな財力により造られた山車4輛が半田運河を中心に曳き廻されます。



山車

5年に一度の祭典

山車31輛が勢揃いはんだ山車まつり

半田市内10地区31輛の山車が勢揃いする5年に一度の祭典で、50万人を超える見物客でにぎわいます。魅力は何といてもスケールの雄大さで、31輛の山車の曳き廻しは勇壮そのものです。宵祭りでは提灯飾りした山車や、ちんども舟(巻藁舟)が幻想的な雰囲気醸し出します。ほかにもからくり人形、獅子舞、幼児による三番叟の舞など、半田の山車文化の全てが観覧できます。

次回開催予定 半田運河周辺
令和5年 10月28日・29日
次々回/令和9年秋開催予定



半田運河に浮かぶ、ちんども舟

Check!

バーチャルリアリティ動画で山車まつりを360度体感!



からくり人形



亀崎西組花王車
桜花唐子遊び
～綾渡り～

桜の枝に吊るされた綾をつたって二体の唐子が渡っていく、難れからくりです。



乙川浅井山宮本車
唐子遊び
～乱杭渡り・変身～

小唐子が五段の乱杭を渡る難れ技をします。大唐子は、おめでたい言葉が書かれた文字扁額に素早く変身。



下半田南組護王車
二福神
～大黒天・恵比寿天と宝船～

恵比寿が大きな鯛を釣り上げて大喜び。大黒が小楯で宝袋を叩くと、袋が開き中から宝船が出て、紙吹雪と宝銭が飛び出します。



西成岩西組敬神車
鶴(ぬえ)
～源頼政弓張り張月の対峙～

源頼政が京都御所に出没する「ものけ」[鶴]を矢で射落とす。源頼政が短剣でとどめを刺す。平家物語の鶴の章を演じます。

半田市内の山車のうち20輛に31戯のからくり人形が載り、春の祭礼では各地区の氏神に人形技芸を奉納します。山車前方の前棚で演じられる前棚人形は、直接操る三人遣いも多く、三番叟(さんばそう)がその代表。山車の上部に載る精巧かつ大がかりな上山人形は、逆立ち、乱杭渡りなどの難れ技や、能の演目などが演じられます。それぞれ、お囃子や謡、三味線、琵琶の音色に乗せて披露されます。



亀崎中切組力神車
「浦島(面かぶり)」

半田市立博物館

E-7



知多半島の自然や歴史から半田の祭礼・醸造文化について学べます。中でも山車の実物展示(4ヶ月ごとに入れ替え)は大迫力!からくり人形の操作も体験できます。

- 0569-23-7173
- 半田市桐ヶ丘4-209-1
- 10:00~18:00
- 毎週月曜(月曜祝日の場合は開館、翌日休館)、年末年始休
- 無料

亀崎潮干祭

5月3日・4日

海から祭神が上陸したという伝説にちなみ、潮干の海浜に5輛の山車を一気に曳き下ろす、とても珍しい祭りです。湿った砂にゴマ(車輪)が沈み込み立ち往生してしまった山車が、曳き手の奮闘により再び動き出すと、観客から大きな拍手と喝采が沸き起こります。祭りの起源は三百年前までさかのぼるといわれています。平成18年には国の重要無形民俗文化財に指定、平成28年にはユネスコ無形文化遺産に登録されました。



祭

り



半田まちあるき

半田運河～半田赤レンガ建物

豊かな地下水によって、古くから醸造業が盛んな知多半島。その繁栄を加速させたのが、半田運河の存在です。すでに酒どころであった灘などの上方よりも江戸への輸送に地の利があり、尾張藩の後押しもあって、廻船業が栄えました。酒や酢などが、半田運河沿いの醸造蔵から江戸や大坂へと、どんどん出荷されていたのです。そうして運ばれた特産品の一つが、今も半田に本社を置くミツカングループの創業者初代中野又左衛門が発明した粕酢。本来捨てられていた酒粕から作った粕酢は、高価な米酢に代わる手軽な材料として、江戸で「握りずし(早ずし)」のブームを巻き起こし、握りずしの全国への普及につながりました。今も醸造蔵の黒板塀を映す運河は、「醸造のまち」半田の歴史を伝えて、滔々と流れています。

「醸造のまち」の昔と今を訪ねて。



MIZKAN MUSEUM

ミツカンの酢づくりの歴史や、食文化の魅力に触れ、楽しみ学べる体験型博物館です。ミツカンの歴史はもちろん、江戸時代と現代のお酢の作り方をわかりやすく知ることができ、また、紙粘土で寿司をにぎる体験や顔写真入りラベルの「マイ味ぼん」づくりなど楽しい体験もできます。ショップでは、オリジナルグッズや創業時の粕酢を再現したお酢「三ツ判®山吹®」なども販売しています。最新情報はホームページをご確認ください。
<https://www.mizkan.co.jp/mim/>



- 0569-24-5111
- 半田市 中村町2-6
- 9:30～17:00
- 毎週木曜休(木曜が祝日の場合は開館、翌金曜休)、年末年始休

事前予約制

ホームページまたは電話にて事前のお申し込みが必要です。



國盛 酒の文化館

200年ほど前に建てられた古い酒蔵をそのまま利用したお酒の資料館。伝統的な酒造りや古い道具の展示のほか、直売店もあります。

- 0569-23-1499 (事前予約制)
- 半田市 東本町2-24 ● 10:00～16:00
- 毎週木曜休(木曜が祝日の場合は開館、翌金曜休)、年末年始・お盆休
- 入館無料

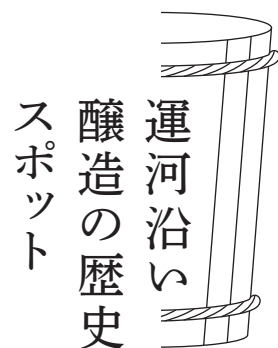


旧中塀半六邸・半六庭園

江戸時代から代々地元の発展に貢献した豪商、中塀半六家の明治22年建築の旧邸宅。現在は飲食店等(フレンチレストラン、バームクーヘン専門店)や貸部屋として利用されています。屋敷前の半六庭園は、来訪者の憩いの場として開園されています。

旧中塀半六邸

- 0569-89-2925 ● 半田市 中村町1-7
- 10:00～17:00 ● 毎週木曜・年末年始休
- 半六庭園
- 0569-84-0689(半田市観光課)
- 半田市 中村町1-7
- 9:00～17:00 ● 年末年始休 ● 入園無料



運河沿いの醸造の歴史 スポット

映画「姿三四郎」のロケ地にもなった。

昭和18年に公開された、柔道家の活躍を描いた黒澤明監督のデビュー作。半田運河では主人公が悪漢を運河に投げ飛ばすシーンなど、3日間にわたって撮影されました。



半田運河

半田運河が位置する衣浦湾は古くは衣ヶ浦といい、江戸時代には多くの舟才船(千石船)が行き来しました。かつて酒や酢の積み出しの港として発展してきた半田運河の周辺には、今でも黒板囲いの醸造蔵や豪商の邸宅が建ち並び、往時の情景を感じさせます。半田運河周辺地区は、平成29年度に、都市景観大賞 都市空間部門で大賞を受賞しました。

半田 まち あるき

醸造と運河の風景に佇み、歴史の記憶を語る赤レンガや新美南吉のふるさとを訪ね歩く。亀崎の不思議な路地に迷い込んでみるのもいい。半田には、今に流れる時の中で人々が紡いできた豊かさがある。

1 半田運河く半田赤レンガ建物

2 新美南吉の足跡をたどる

3 亀崎地区をぶらり





痛々しい傷跡も大切な遺構。

建物の北側外壁をよく見てみるとたくさんの穴があります。これは、太平洋戦争の終わりの空襲を受けた、機銃掃射の弾痕です。痛ましい姿ではありますが、これも悲惨な戦争を語り継ぐ大切な遺構です。



ビール工場として内部の温度を一定に保つための中空構造を持つ5重の複壁。

紺屋海道

江戸時代染物屋がたくさん並んでいたと伝えられる通り。今でもどこか懐かしい風情が残っています。黄土色のライン舗装をたどると、半田運河から半田赤レンガ建物へ迷わず行くことができます。



旧中笠家住宅

中笠半六家の第10代半六が明治44年に別荘として建築。欧州留学中に見た住宅の美しさに魅了されて建築したといわれています。
●半田市天王町1-30-2
●外観見学は年中無休で可。年に数回公開日あり。



国の重要文化財



- P 公共駐車場
- ① 公共トイレ
- ② 観光案内所
- ③ 知多四国 88ヶ所札所
- ④ 丸番号は14~16頁掲載の店舗

半田運河のイベント



半田運河の鯉のぼり

毎年4月中旬から5月初旬までの期間、半田運河に50匹以上の鯉のぼりが優雅に泳ぎます。半田運河の春を彩る風物詩です。



半田運河Canal Night

夏の夜に2日間開催されるアートイベント。半田運河の水面に数千個のヒカリノ玉を浮かべ、ゆらゆらと幻想的な空間を演出します。

市の天然記念物
モッコウバラ

国の登録有形文化財
小栗家住宅

市指定天然記念物 萬三の白モッコウバラ (小栗家住宅)

国登録有形文化財の小栗家住宅の庭にある、樹齢150年ほどの大きな白モッコウバラ。毎年4月中旬から5月初旬に可憐な白い花が咲き、期間限定で特別公開しています。



知多半島に鉄道遺産が多いワケ。

知多半島を走るJR武豊線は、東海道線の建設用資材を運ぶために作られた路線です。工期わずか7ヶ月で明治19年に開通。日本最古の現役駅舎といわれる亀崎駅舎のほかにも、煉瓦造の橋脚や転車台など貴重な鉄道遺産が今も残っています。



半田市鉄道資料館

昭和52年に開設された鉄道資料館。武豊線の貴重な資料を数多く収蔵しています。屋外には、C11265蒸気機関車も展示されています。
●0569-23-7341(教育委員会生涯学習課) ●10:00~15:00 ●開館日/毎月第1・第3日曜(1月のみ第2・第3日曜) ●無料



常設展示室

半田赤レンガ建物やカプトビールづくりに挑んだ先人の情熱とその歴史を模型・映像・当時の写真などでご紹介。
●9:00~17:00
●大人200円(中学生以下無料)



ショップ

複製されたカプトビールをはじめ、オリジナルグッズや半田・知多地域の名産品を数多く取り揃えています。
●10:00~17:00



カフェ&ビアホール「Re-BRICK」

カプトビールと、地元食材を使った美味しい料理やおつまみが楽しめます。ランチや季節のケーキも人気です。5月から10月にかけて屋外BBQビアガーデン(17:00~21:00/予約制)も開催しています。
●10:00~21:00(LO20:30)、ランチ11:00~14:00(LO13:30)
※営業時間に変更となる場合があります。



半田赤レンガ建物

- 0569-24-7031
- 半田市榎下町8
- 9:00~22:00
- 年末年始休

歴史の生き証人、半田赤レンガ建物。

日本のビール黎明期に、地方都市・半田から大手メーカーのしご流ブランドを発信しようと果敢に挑んだ起業家たちがいました。丸三ビール(後のカプトビール)を創り出した、中笠酢店の四代目中笠又左衛門と後の敷島製パン創業者、盛田善平らです。明治31年に、本格的なドイツビールの醸造のために建設したビール工場が、現在の半田赤レンガ建物。当時のレンガ建造物としては日本で五本の指に入る規模です。

半田赤レンガ建物のイベント



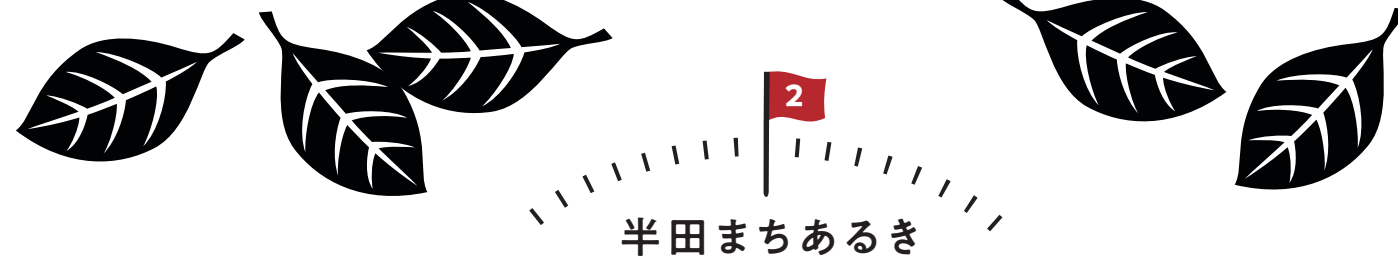
- 半田赤レンガ建物内や芝生広場で、年間さまざまなイベントが開催されています。最新情報はホームページでチェック!
- ・7月中旬/カプトビールフェスタ
- ・10月中旬/ドイツフェスティバル
- ・毎月第4日曜日/半田赤レンガマルシェ
- ・奇数月第1日曜日/ひとはこ市

複製された幻のカプトビール。
明治22年5月、「丸三ビール」と名づけられた瓶詰めビールが半田から初出荷されました。これが後のカプトビールです。その後バリ万博で金賞を受賞。戦時中に製造を中止しましたが、半田赤レンガ建物の保存活動を行う赤煉瓦倶楽部半田の取り組みにより、平成17年に復刻されました。蘇ったのは明治と大正の2種類。当時の分析表や文献を基に、できる限り忠実に再現されています。



右が「明治カプトビール」、中央が「大正カプトビール」、左のオリジナルグラスはショップでも販売しています。

JR半田駅 400m
半田運河 170m
小栗家住宅 80m
旧中笠半六邸 850m
紺屋海道 500m
半田赤レンガ建物 400m
住吉町駅



半田まちあるき

新美南吉の足跡をたどる

ごんぎつねのふる里で遊ぶ。

「ごんぎつね」手袋を買いに」などで知られる児童文学作家の新美南吉は、愛知県知多郡半田町(現半田市岩滑やなべ)で誕生しました。彼が学生時代から教員時代を通じて精力的に執筆した多くの童話や小説は、国語教科書に採用されるなどして、人びとに愛され続けています。庶民や子ども、身近な動物たちがいきいきと描かれた多くの作品の舞台は、ふる里の半田。登場人物たちの心情を映した美しい風景は、ここ半田のまちにある、彼の生家近くで今も見ることができます。



記念館の中で、とてもゆったり読書をしている南吉さんの実物大形。

新美南吉童話イメージキャラクター「ごん吉くん」。実は南吉さんの弟子です。

新美南吉記念館

●0569-26-4888 ●半田市岩滑西町1-10-1
●9:30~17:30 ●毎週月曜、第2火曜休
(祝日・振替休日の場合は開館、翌日休館)、
年末年始休 ●大人220円(中学生以下無料)
※令和4年11月下旬~12月は、リニューアルのため臨時休館予定

新美南吉記念館

「ごんぎつね」手袋を買いに「おじいさんのランプ」など、数々の名作の作者として知られる、半田が生んだ児童文学作家・新美南吉の記念文学館。館内には常設展示、図書閲覧室などが設けられ、自筆原稿や日記・手紙などの資料、また代表作「ごんぎつね」の世界をジオラマで見ることが出来ます。



里山の稜線を彷彿とさせる屋根の美しいシルエットが印象的。



ごんが佇むベンチ

矢勝川のほとりにはベンチの横でごんが佇んでいる場所があります。権現山に思いを馳せているごんと並んで思い出写真などはいかがですか。



南吉の養家(新美家) ((公財)かみや美術館 分館)

生母り糸の実家。跡取りのため大正10年、当時8歳の南吉が養子として迎えられましたが、寂しさに耐えられず数ヶ月後には渡辺家へ戻りました。童話「小さい太郎の悲しみ」「川」に登場します。
●0569-29-2626(かみや美術館)

事前予約制

●半田市平和町7-60
●入場料300円



300万本の彼岸花(矢勝川堤)

9月下旬から10月上旬になると、半田市と阿久比町の境を流れる矢勝川の堤に東西1.5キロメートルにわたって彼岸花が咲き誇り、一面が真っ赤な絨毯に覆われる幻想的な光景が現れます。その数なんと300万本。これは童話「ごんぎつね」に書かれた「ひがんな花が赤い布のようにさきつついていました」という描写を再現しようとして、平成2年に地域住民が主体となって彼岸花の球根を植栽したのがはじまりです。



南吉の生家(渡辺家)

南吉は大正2年7月30日にこの家で生まれました。向かって右が父の畳屋、左が継母の下駄屋でした。幼い頃の南吉はここで行き交う人々を眺めて育ちました。
●0569-26-4888(新美南吉記念館)
●半田市岩滑中町1-83
●9:00~17:00 ●年末年始休
●入館料 無料
※令和4年秋冬改修のため臨時休館予定



六地藏・南吉の墓(北谷墓地)

童話「ごんぎつね」の中でごんが隠れていた岩滑の六地藏がここに移されています。南吉の墓は、昭和35年、父の渡辺多蔵によって建てられました。



常福院

童話「ひよりげた」の舞台となったほか、「久助君の話」、小説「堀」にも登場するお寺。戦前は境内で盆踊りが行われ、南吉もよく踊っていました。



ででむし広場

矢勝川沿いの小広場。ででむし(カタツムリ)の像やキツネの滑り台などがあります。広場の名前は教員時代の詩集に掲載した詩にちなんでつけられました。



cafe&shop「ごんの贈り物」

新美南吉記念館に併設されたcafe&shop「ごんの贈り物」では、南吉関係の絵本や書籍のほか、市内の銘菓や南吉童話グッズを取り揃えています。オリジナルコーヒーや各種デザートを楽しみながら、絵本を読むこともできます。



新美南吉記念館から繋がる「童話の森」に置かれている六地藏とごんの像。

半田で遊ぶ

自然と親しむレジャーがいっぱい。

英語・番号はP17-18の半田マップに掲載



半田運動公園

半田市の西部丘陵地にある緑豊かな公園です。陸上競技場、テニスコートなどのスポーツ施設のほか、デイキャンプ場、芝生広場、大小様々な遊具など、子どもから大人まで楽しめます。

- 0569-27-6663
- 半田市池田町3-1-1
- 9:00~21:00 ● 年末年始休



雁宿公園

市内有数の桜の名所で、シーズン中は多くの花見客で賑わいます。明治23年に陸海軍の連合大演習が行われた際、明治天皇が大演習統監のために立ち寄られたことを記念して、大正2年に公園として整備されました。

- 0569-84-0665 (半田市都市計画課)
- 半田市雁宿町3-204-1
- 8:00~20:00(駐車場開錠時間)
- ※花見シーズンは終日開放



半田空の科学館

見るのももちろん、触れる・遊ぶといった体験を通して地球や宇宙の不思議を学べる科学館。知多半島唯一のプラネタリウムでは、季節にあわせ趣向を凝らしたプログラムを投影しています。

- 0569-23-7175
- 半田市桐ヶ丘4-210
- 9:00~17:00
- 毎週月曜休(祝・休日の場合は翌休、年末年始休)
- 無料(プラネタリウム有料)



JR亀崎駅 駅舎

明治19年の開業当時の駅舎で、現存する現役のJR木造駅舎では最も古いといわれています。



鬼門地蔵

亀崎では路地のあちこちで個人宅の角に小さな鬼門地蔵が祀られているのを見かけます。個人所有の地蔵が地域にこれほどたくさんあるのは全国的に珍しいそうです。



立川美術館

山車を豪華絢爛に飾る彫刻。その流派のひとつである「立川流」の彫刻を展示しています。他ではできない「山車乗車体験」もできます。

- 0569-29-5897
- 半田市亀崎町6-81
- 10:00~17:00(入館は16:30まで)
- 毎週水曜休
- 大人500円、小中学生200円

亀崎地区をぶらり

半田の北端部に位置する亀崎エリアは、独自の発展を遂げた港町でした。江戸時代には三河や伊勢、江戸を結ぶ海運の要衝として賑わい、今も残るその歴史の面影と、迷路のような独特の路地が、訪れる人を楽しませてくれます。神前神社の祭礼「亀崎潮干祭(PI参照)」は、国指定重要無形民俗文化財、ユネスコ無形文化遺産であり、現在でも亀崎の歴史・文化の象徴として大切に受け継がれています。



- P 公共駐車場
- i 公衆トイレ
- 知多四国 88ヶ所札所
- 丸番号は14~16頁掲載の店舗



大坂

坂道が多い亀崎地区の中でも、「大坂」は景観が魅力。どこなく郷愁たどる風情から「亀崎の尾道」と呼ばれています。



三軒長屋

2017年に古い建築物をリノベーションした、亀崎散策の休憩スポット。手作りの焼き菓子や珈琲が楽しめます。



望洲楼

幕末の安政2年に創業した料亭。緑豊かな丘の斜面にそって建てられたその姿は、市の景観重要建造物として、今だその風格を保ち続けています。

- 0569-28-1136
- 11:30~22:00(要予約)



温泉

まるはごんぎつねの湯

木の香り漂う純和風な浴室と、日本庭園に囲まれた露天風呂。寝湯、打たせ湯、歩行湯、源泉100%掛け流しの滝壺風呂など、様々な種類のお風呂が楽しめます。

- 0569-27-8878
- 半田市平和町5-73-2
- 10:00~22:00(最終受付21:00)
- 毎週月曜休(祝日の場合は翌火曜休)
- 大人800円、小人400円



バーベキュー施設

(各施設の利用には事前の予約が必要です) ※雨天時や荒天時は営業を中止する場合があります。

半田運動公園 デイキャンプ場

常設のバーベキュー卓が33卓、道具を持ち込めるオープンスペースが7区画あります。

● 0569-27-6663 ● 半田市池田町3-1-1

ファーマーズマーケットブリオ半田店

豚肉専門店こだわりのあいぼーくが食べ放題。ハウスなので雨でもOKです。

● 0569-20-5410 ● 半田市吉田町4-173

グリルガーデン黒牛の里

新鮮で美味しい知多牛が楽しめます。火おこしや片づけも不要でラクラクBBQ。

● 0569-89-8629 ● 半田市若浜西町2-48-127

石川屋 焼肉小屋バーベキュー場

肉のびっくり市でお肉を買ってすぐに食べられる焼肉小屋。(毎週土日のみ利用可能)

● 0569-22-6161 ● 半田市十一号地18-28

フルーツ狩り



ブルーベリー狩り

様々な種類のブルーベリーをお好きなだけ味わえます。

- ウエルハート農園 C-7 ● 070-1644-5665 ● 半田市吉田町8-75



いちご狩り

(12月頃~5月頃・予約優先) 毎年人気の冬から春のレジャー。甘〜い大粒いちごを好きなだけ堪能できます。

- 市野園芸 C-6 ● 0569-27-7586 ● 半田市田代町156-1
- 澤田農園 B-6 ● 0569-27-6430 ● 半田市金山町2-145
- ベリーガーデンズ D-6 ● 0569-47-8015 ● 半田市北滑草町153



山車サヤくらべ

まちを散策していると、潮干祭の期間中に山車を納めるサヤが目に入ります。これも亀崎ならではの風景です。



現在、酪農農家二戸当たりの飼養頭数が日本トップクラスの酪農王国、知多半島。なかでも半田市は、知多酪農発祥の地です。明治期に、実業家の四代目中笠又左衛門が滋養と健康のために自家用の乳牛を飼育し、その後、半田駅南東一帯に牧場を開いて本格的に酪農を始めました。食肉文化の普及に伴って肉牛の肥育も展開し、乳牛のホルスタイン種と肉牛の黒毛和種を交配させた知多牛「響（ひびき）」が誕生しました。乳牛の持つさっぱりとクセのない味わいと和牛の持つ柔らかく甘さのある旨味が特徴で、美容美肌の効果があるといわれている成分も含まれています。



豊かな自然のなかで、のびのびと育った豚、石川養豚場のあいぼーく。徹底した衛生管理のもと、オレイン酸、リノール酸などの数値を計測して、科学的にもおいしさを管理。植物性100%の飼料で臭み抑えて旨味を引き出しています。新鮮な精肉のほか、ソーセージなどの加工品も人気です。



知多半島産のブランド牛。



Check!

乳牛×和牛の旨さ！
知多牛が食べられる
お店をチェック!!

知多豚

知多半島の温暖な気候と恵まれた環境で育てた、やわらかく、ジューシーでまろやかな味の豚肉です。

ふるさと納税で
半田市を応援しませんか？

Check!

返礼品として
地域の特産品が選べます



魅力発見!

半田を

味あわらう

知多半島の温暖な気候と海、歴史が育んだ豊かな食文化。

ミツカン創業当初の製法に忠実に、かつ現代人の嗜好に合わせて研究と改良を加えながら、いまに継がれている純酒粕酢「三ツ判山吹」。三ツ判とは、一番の出来の山吹樽に焼印を三つ押したことから付けられた、品質最高ランクの証です。米酢や穀物酢に比べ、ツンと尖った酸味がなくまろやか。深いうまみとふよやかな香りを持つのが特徴です。



純酒粕酢
「三ツ判山吹」



尾州早すし

握りずし文化を支えた半田の粕酢。

すしの原型は魚を塩と米で発酵させた、いわゆる「なれずし」です。その後、熟成不要ですぐに食べられる「早すし(握りずし)」が登場したのは、屋台文化が花開いた江戸の後期。その握りずしの味を支えたのが、半田の粕酢です。ミツカングループの創業者、初代中野又左衛門は、酒造りが盛んなこの地に豊富にあった酒粕を利用し、粕酢の醸造に成功。当時、米から作る米酢は高価でしたが、安価で、かつすし飯に合う風味と旨みを持つ粕酢は、その後の握りずしの普及に大いに貢献しました。半田の粕酢は、握り寿司に欠かせない調味料として、日本が世界に誇るすし文化の礎を築いたのです。

半田は酢のまち、すしのまち。

握りずしの歴史に深いかわりを持つ半田市では、カウンターで食べる本格すしから創作すしまで、すしを提供する銘店がいっぱい。中でも、市内3店舗では、ミツカンの純酒粕酢「三ツ判山吹」を使い、江戸時代の握りずし(早すし)を現代版にアレンジした「尾州早すし」を食べることが出来ます。当時の文献通り、一貫の大きさは現在のすしの約2〜3倍で、粕酢を使ったあめ色のシャリが特徴的です。ぜひ、すしのまち半田で様々なすしを味わってみてください。



Check!

尾州早すし&半田の寿司
探すならココ!



現代の握り(右)と、尾州早すし(左)。粕酢を使ったあめ色のシャリの上に、仕込みのタネがのるのが特徴のひとつ。当時は生のタネは使用されていませんでした。初めて見ると、その大きさに驚くこと間違いなし。

半田の醸造

知多半島は、温暖な気候と澄んだ空気に恵まれ、江戸時代から、酒、酢、みそやたまりなどの銘醸の地として大いに栄えてきました。知多半島の醸造が発展したもうひとつの要因に、海運業が盛んであったことがあげられます。ことに運河沿いに醸造蔵が建ち並ぶ半田では、運河から江戸へ向けて多くの醸造品が運ばれました。また江戸との往来により江戸の最先端文化が持ち込まれ、半田は華やかな賑わいをみせていました。そして、いまなお受け継がれる伝統の技と味、半田の醸造品。ぜひご賞味ください。

酢



MIM(ミツカンミュージアム)で数量限定販売「千夜」。

ミツカングループ原点の酢ともいえる「三ツ判山吹」をさらに3年熟成。その名の通り千夜熟成させて出来た半田でしか買えない高級酢です。



大豆のうまみが凝縮。

豆みそを熟成する過程でにじみ出た液体が、たまりです。大豆の使用割合が多く、仕込の水は少なめ。色は濃く、豆のうまみが強いのが特徴です。低い温度で火入れすることで有用菌が作用し、刺身の殺菌や生臭さを消すとして重宝されてきました。ほかの醤油に比べ、塩分は少なく「うまみのかたまり」といわれるたまり。いつものレシピに少し足すだけでコクも風味も格段に豊かに。隠し味としても大活躍します。

たまり

豆みそ

長期熟成が生む深いコク。

大豆由来のたんぱく質とうまみ成分グルタミン酸がたっぷりの発酵食品、豆みそ。乳酸菌や酵素、高い抗酸化性を備えたスーパー健康食材です。米みそや麦みそよりも熟成期間が長く、色の濃さから塩辛いと誤解されがちですが、他のみそより塩分控えめ。煮込んでも風味や香りが損なわれず、煮込むほどにうまみやコクがアップするのも、豆みその持ち味です。



半田市のたまり・豆みそ・酢 醸造メーカー

キッコウトミ株式会社 中利株式会社 株式会社ヤマミ醸造
ミツカングループ

濃醇にして甘美。

温暖な気候に加え、質の良い米とまろやかな軟水に恵まれた知多半島の酒造りは、江戸時代から盛んになりました。当時、江戸と上方(現在の大阪)の中間に位置する知多の酒は「中国酒」と呼ばれ、江戸の人たちに広く親しまれました。明治初期の最盛期には200を超える酒蔵が知多半島にあったといわれています。現在では知多半島

知多酒

に7蔵、うち半田市内には3つの酒蔵が残り、おいしいお酒が作られています。



した。明治初期の最盛期には200を超える酒蔵が知多半島にあったといわれています。現在では知多半島

半田市の酒造メーカー

中埜酒造株式会社
盛田金しゃち酒造株式会社
伊東株式会社

1 クラシティ フードマーケット

こだわりの厳選食材や、知多半島ならではの食材をバラエティ豊かに取り扱っています。

- 0569-47-8680
 - 広小路町155-3 CLACITY1F
 - 10:00~19:00
 - 毎月第4水曜日 ※クラシティ定休日に準ずる
- ※一部お取り扱いのない商品がある場合もございます。

知多酒を
買うならココ!

半田市内の「醸造レストラン」

「うまみの根っこ、知多の醸造」オフィシャルサイトでは、知多の特色ある醸造品と食材を生かした逸品メニューを提供する選りすぐりのお店「醸造レストラン」の一部をご紹介します。



2 和食 望洲楼 (事前予約制)
9頁 亀崎町3-71 ☎0569-28-1136

3 和食 古扇楼
5頁 中町1-110 ☎0569-21-0043



「うまみの根っこ」
認定醸造レストランは
このステッカーが目印。

英語・番号は17~18頁の
半田マップに掲載

知多半島の醸造品いろいろ
買うならココ!

うまみの根っこ

知多の醸造

知多半島の醸造文化を知る、食べる、好きになる。

「うまみの根っこ、知多の醸造」は、愛知県知多半島の醸造文化を紹介するサイトです。

知多半島は古くから醸造文化が花開き、いまなお継承し続ける醸造王国。知多半島のうまい醸造品を知り、もっともっと味わって欲しい。そんな思いから、このプロジェクト「うまみの根っこ、知多の醸造」は始まりました。

知多の「うまみ」を買う。

オンラインショップ

「うまみの根っこ、知多の醸造」オンラインショップでは、知多半島の蔵元や醸造メーカーのさまざまな発酵調味料が勢ぞろい。ぜひお気に入りを見つけてください。

販売コーナー

半田赤レンガ建物(P6参照)のショップ内に「うまみの根っこ、知多の醸造」のコーナーを設置。知多半島醸造メーカーの商品を購入できます。

醸造品をたのしみ、たしなむ。

醸造メーカーの工場見学と醸造レストランをめぐる「醸造グルメツアー」や、醸造品を上手に使う料理レシピの考案etc...。知多半島のファンになっていただくための企画を公式サイトで随時発信していきます。

プロジェクト
オフィシャルサイト

umainonekko.jp



4 和食 蔵の味 (事前予約制)
5頁 荒古町1-2 ☎0569-24-6605



1 居酒屋 昼さがり酒場 農家の嫁
5頁 広小路町155-3 CLACITY1F ☎0569-58-8411



5 寿司 寿司会席 真砂本店
D-7 北二ツ坂町2-15-3 ☎0569-21-0547



6 うなぎ 一心屋 青山店
D-8 青山4-6-10 ☎0569-24-5500

半田のお菓子

老舗和菓子店の味わいはもちろんのこと、新しい和洋菓子も負けていない。おいしさを競演をさまざまに楽しめまます。



生せんべい(白、黒、抹茶、ゆず)
家康に愛されたといわれる半生菓子。黒砂糖と蜂蜜のほのかな甘みが口に広がりがどこか懐かしい味が楽しめます。
9 和菓子 総本家田中屋 清水北町1 ☎21-1594



プッセ
ふんわりとした生地にフレッシュバター100%のクリームをたっぷりサンドしたお菓子。気軽な手土産としても人気です。
8 洋菓子 カレット洋菓子店 半田店 広小路町153-8 ☎22-7340



季節の上生菓子
四季折々の美しさが表現された生菓子です。確かな品質とこだわりでファンが多く全国のお茶席でも愛されています。
7 和菓子 松華堂菓子舗 御幸町103 ☎21-0046



ニツ坂ロール
濃厚卵を使用したクリームがたっぷり。厳選素材にことんこだわったしっとりふわふわなロールケーキです。
13 洋菓子 リヴェールニツ坂 北二ツ坂町2-15-13 ☎26-6161



くるみゆべし
もっちりとした食感のゆべしの中にサクサクとしたくるみの絶妙なアクセントがきた素朴な甘さの餅菓子です。
12 和菓子 八幡屋菓子舗 乙川北側町2-44 ☎21-2288



南吉の黄ごん芋
黄金色に焼き上げたさつまいもの餡をシナモンの風味が香る皮で包んだ焼き菓子です。コーヒーのお供にもおすすめ。
11 和菓子 丸初製菓本舗 本町7-20 ☎21-0391



玄米志る粉
知多半島で、有機栽培された玄米を使った香ばしい香りのお汁粉です。ほっと温まりたいときにぴったりです。
10 和菓子 若松軒菓子舗 銀座本町2-11 ☎21-1060



半田酒蔵マドレーヌ
半田の地酒 國盛の大吟醸を使用した香り豊かなマドレーヌ。日本酒好きにはたまらない逸品です。
17 洋菓子 バティスリー ラ・ミモザ 岩滑高山町7-130-1 ☎89-7303



バームクーヘン
職人技で丁寧にじっくりと焼き上げた看板商品。周りをシャリとしたやや厚めのフォンダンでコーティングしています。
16 和菓子 御菓子所 松川園 榎下町16-1 ☎21-1736



岩滑サブレ
「ごんぎつね」をモチーフにした人気のサブレ。高級発酵バターを使い素材の風味を活かして焼き上げました。
15 洋菓子 ジャンポール 岩滑中町3-194 ☎22-8643



石かがみ
平成22年天皇后両陛下が知多半島ご訪問の際の献上品で、極上大納言をこはくで包みました。柚子石かがみもあります。
14 和菓子 常川屋 半田店 宮路町151-11 ☎25-1005



稲穂のしずく
農薬や除草剤、消毒等はほとんど使用せず丹精込めて作ったお米です。粘り、旨さ、香りの違いをご堪能ください。
20 軽食 丼 岩滑高山町6-20-6 ☎080-2636-9233



ちいさなごんの贈り物 Books
新美南吉の童話を素敵なイラストで装丁された手のひらサイズの絵本にしました。ポケットに忍ばせて旅のお供どうぞ。
19 雑貨 カフェ cafe&shop「ごんの贈り物」(新美南吉記念館内) 岩滑西町1-10-1 ☎26-1885



浜潮オリジナルレトルトカレー「海の幸三種食べ比べ」
海の幸に拘る老舗日本料理店が開発。知多の海の恵みをぎゅっと詰め込んだ絶品カレーです。
18 和食 日本料理 浜潮 天王町2-27-8 ☎21-3408



有楽タンメン
有楽町2-253 ☎84-0043



レストラン・喫茶 リヨン
雁宿町1-22-1(雁宿ホール内) ☎23-4848



ダフネ珈琲店 半田中央インター店
岩滑西町9-101-1 ☎23-7270



Cafe CITA
広小路町155-3 CLACITY1F ☎47-9400



いわし料理・ふぐ料理 円芯
御幸町1 ☎21-2882



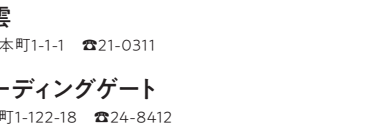
漂香茶館
有楽町8-27-1 ☎47-6897



OTTI
有楽町3-34 ☎47-8114



寿司 笑魚亭
北二ツ坂町3-11-9 ポジティブ1F ☎24-7302



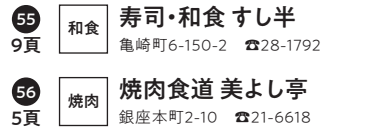
隠れ家和食 ちゃり蔵
瑞穂町7-1-9 ☎21-6367



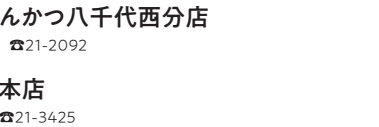
もつ鍋・創作市場 はん蔵もん。
花園町4-1-14 ☎32-3077



寿司・和食 すし半
龍崎町6-150-2 ☎28-1792



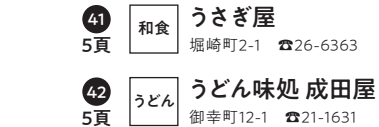
焼肉 焼肉食道 美よし亭
銀座本町2-10 ☎21-6618



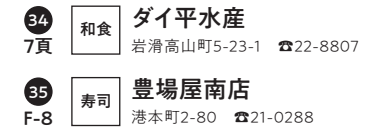
ばんがい地本店
銀座本町4-15 ☎21-3425



うなぎ料理 うな東 星崎店
星崎町3-39-8 ☎24-5710



うなぎ料理 うな東 青山店
青山2-18-14 ☎21-7267



GLENCOE(グレンコー)
北末広町113-7 ☎22-5337

半田のお土産

半田を象徴するオリジナルティあふれるお土産が盛りだくさん！旅の思い出となる自分へのプレゼントもお忘れなく。



「権ブレンド」ドリップバックギフト
薫り豊かな高級生豆を厳選して使用したドリップバックコーヒー。「ごんぎつね」をイメージしたオリジナルブレンドです。
24 珈琲豆 自家焙煎珈琲 丸喜 春日町2-18 ☎21-2615



南知多産 生炊きしらす
獲れたての新鮮なしらすを軟らかく甘辛い味付けで炊き上げました。農林水産大臣賞も受賞した人気の商品です。
23 カフェ 魚太郎 蔵のまちカフェ 中村町1-33-2 ☎89-7810



半田赤レンガカレー 1人前
隠し味に特別なビールを使ったまろやかでコクのあるビーフカレーをお土産用のレトルトカレーにしました。
22 雑貨 カフェ 半田赤レンガ建物 榎下町8 ☎24-7031



ごんぎつねTシャツ
半田のご当地Tシャツ。「ごんぎつね」の世界を可愛いイラストにして、Tシャツにプリントしました。
21 土産 半田物産館 御幸町32 ☎21-2366



リヴェールニツ坂
北二ツ坂町2-15-13 ☎26-6161



八幡屋菓子舗
乙川北側町2-44 ☎21-2288



丸初製菓本舗
本町7-20 ☎21-0391



若松軒菓子舗
銀座本町2-11 ☎21-1060



自家焙煎珈琲 丸喜
春日町2-18 ☎21-2615



魚太郎 蔵のまちカフェ
中村町1-33-2 ☎89-7810



半田赤レンガ建物
榎下町8 ☎24-7031



半田物産館
御幸町32 ☎21-2366



有楽タンメン
有楽町2-253 ☎84-0043



レストラン・喫茶 リヨン
雁宿町1-22-1(雁宿ホール内) ☎23-4848



ダフネ珈琲店 半田中央インター店
岩滑西町9-101-1 ☎23-7270



Cafe CITA
広小路町155-3 CLACITY1F ☎47-9400



いわし料理・ふぐ料理 円芯
御幸町1 ☎21-2882



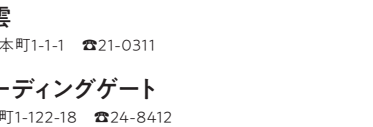
漂香茶館
有楽町8-27-1 ☎47-6897



OTTI
有楽町3-34 ☎47-8114



寿司 笑魚亭
北二ツ坂町3-11-9 ポジティブ1F ☎24-7302



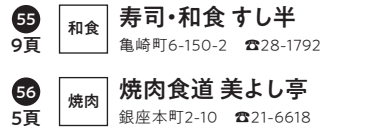
隠れ家和食 ちゃり蔵
瑞穂町7-1-9 ☎21-6367



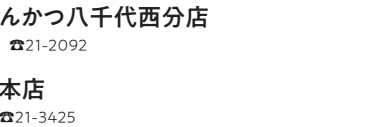
もつ鍋・創作市場 はん蔵もん。
花園町4-1-14 ☎32-3077



寿司・和食 すし半
龍崎町6-150-2 ☎28-1792



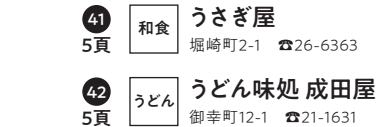
焼肉 焼肉食道 美よし亭
銀座本町2-10 ☎21-6618



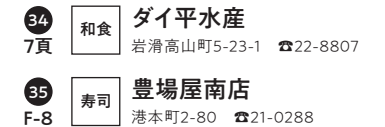
ばんがい地本店
銀座本町4-15 ☎21-3425



うなぎ料理 うな東 星崎店
星崎町3-39-8 ☎24-5710



うなぎ料理 うな東 青山店
青山2-18-14 ☎21-7267



GLENCOE(グレンコー)
北末広町113-7 ☎22-5337

半田市内のおすすめ店

HANDA

マップ 半田

半田市公共交通バスのご案内

観光にはバスの移動が便利です。市内にある、ごんくるバス3路線や知多バス2路線、ごん吉くんバスなど、計8路線をご利用ください。

時刻表や路線図は [こちらから](#)
▶半田市 ホームページ

バスロケーションシステム
バスの所在や到着までの時間がリアルタイムで分かります。

料金 1日乗車券 400円 1乗車 上限200円

※半田・常滑にて、半田市内から半田市外へ直通して乗車される場合は、別途運賃が必要になります。(片道上限運賃200円の適用は半田市内→西板山まで)
※2021年9月時点での情報です。料金や路線を変更する場合がございます。

レンタサイクル

料金 3時間300円 3時間以上500円

貸出場所
G-7 アイブラザ半田 9:00~17:00
D-4 新美南吉記念館 10:00~17:00
F-6 半田赤レンガ建物 9:00~17:00
※貸出を受けた施設に利用時間内に返却してください。

コインロッカー

F-7 名鉄知多半田駅構内 始発~終電まで
F-6 半田赤レンガ建物内 9:00~22:00

半田運河周辺・半田赤レンガ建物・新美南吉記念館・博物館などへ向かうには、半田中央線、半田北部線が便利♪



観光案内所

- G-7 蔵のまち 観光案内所
東洋町1-8 アイブラザ半田内 ☎32-3264
- F-7 知多半田駅前観光情報コーナー
広小路町155-3 CLACITY 3F
お電話は蔵のまち観光案内所へ
- G-7 半田市役所
東洋町2-1 ☎21-3111
- F-6 半田商工会議所
銀座本町1-1-1 ☎21-0311
- F-6 半田市福祉文化会館(雁宿ホール)
雁宿町1-22-1 ☎23-7331
- F-7 半田市市民交流センター
広小路町155-3 CLACITY 3F ☎32-3430
- G-7 アイブラザ半田
東洋町1-8 ☎23-2255(施設予約)
- E-9 青山記念武道館
青山2-1-2 ☎24-0666
- E-7 半田市体育館
桐ヶ丘4-210 ☎23-7176

公共施設

宿泊施設

- D-8 アズイン半田インター
宮本町6-216-1 ☎21-3388
- F-9 ビジネスホテルアーク半田店
旭町2-27-15 ☎24-0391
- F-6 カンデオホテルズ半田
天王町1-50-8 ☎25-0331
- F-7 ビジネスホテル寿屋
雁宿町1-37 ☎21-1843
- G-7 サンポートホテル半田
瑞穂町9-3-1 ☎0120-00-8152
- F-7 センターワンホテル半田
更生町1-124-2 ☎21-6555
- F-5 半田ステーションホテル
宮路町511 ☎23-3222
- I-3 ファーストホテル半田亀崎店
亀崎北浦町2-31 ☎29-4848
- G-8 サウナ&ホテルみどり館
瑞穂町6-7-12 ☎23-6699
- F-7 名鉄イン知多半田駅前
更生町1-120-2 ☎23-3434
- I-4 ホテルルートイン半田亀崎
亀崎町9-141-2 ☎20-1022

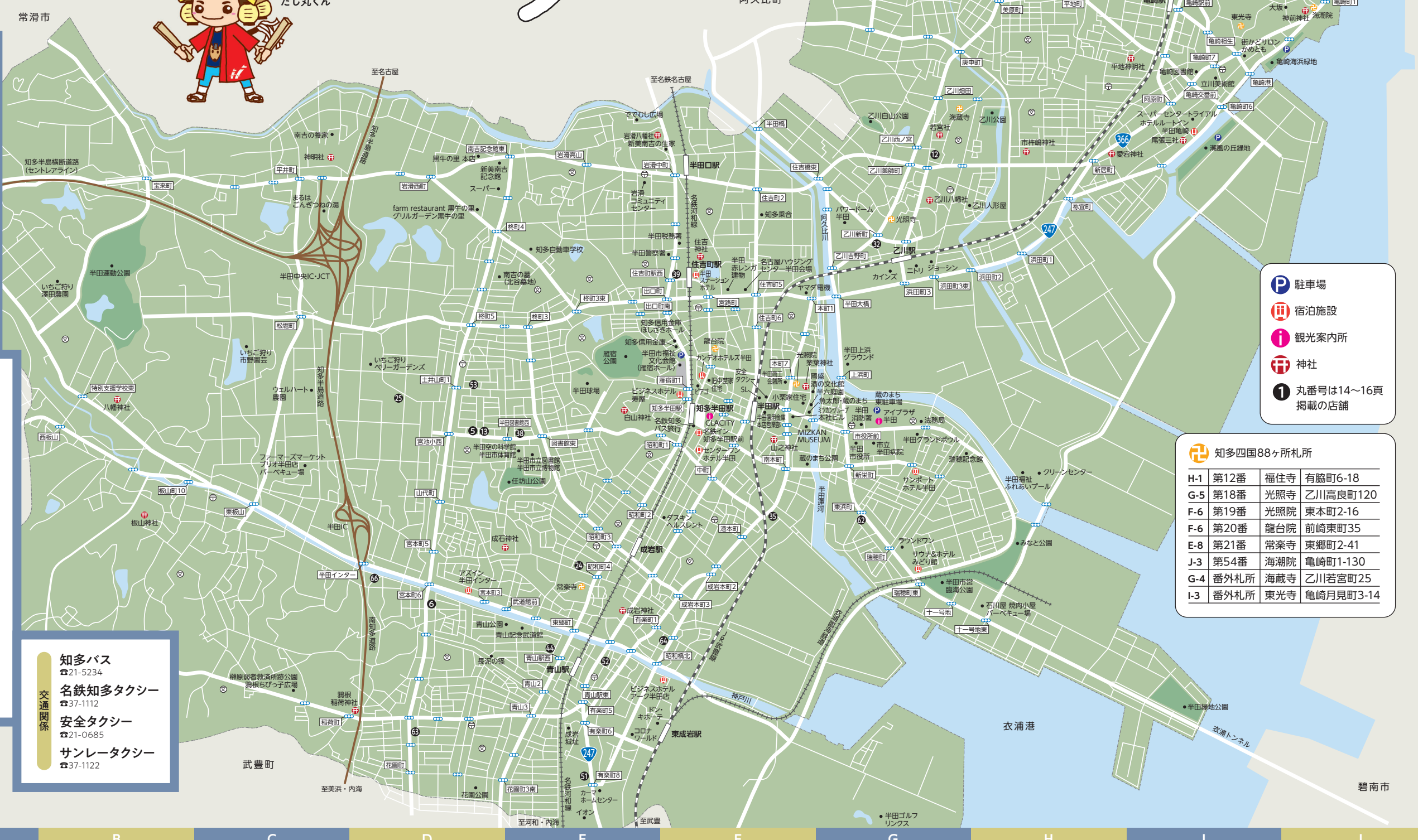
知多バス ☎21-5234
名鉄知多タクシー ☎37-1112
安全タクシー ☎21-0685
サンレータクシー ☎37-1122

半田市の市外局番 = 0569

観光案内所

公共施設

宿泊施設



- 駐車場
- 宿泊施設
- 観光案内所
- 神社
- 丸番号は14~16頁掲載の店舗

知多四国88ヶ所札所

H-1	第12番	福住寺	有脇町6-18
G-5	第18番	光照寺	乙川高良町120
F-6	第19番	光照院	東本町2-16
F-6	第20番	龍台院	前崎東町35
E-8	第21番	常楽寺	東郷町2-41
J-3	第54番	海潮院	亀崎町1-130
G-4	番外札所	海蔵寺	乙川若宮町25
I-3	番外札所	東光寺	亀崎月見町3-14